

● 芸術関係の活動も活発

海外育ちの生徒に一番喜ばれ、安心してもらえるのが、各クラスが20～30名で編成されていることですが、芸術関係の施設や講師陣の充実度も、とても好評です。

音楽では、アップライト・ピアノを置いた個人練習室が10室、ミュージックホールや音楽室などにグランド・ピアノが4台もあって、音楽学校と比べても遜色ありません。中学生は全員、何か楽器を学ぶことになっていまして、各楽器の専門講師が指導に当たっています。もちろん、 brassバンド部（ほぼ半数が帰国生）も活発に活動しています。

美術では、ゆったりとした美術室や美術演習室が整っていますし、画壇やデザイン業界の第一線で活躍中の講師が指導に当たっています。廊下や階段の壁には、生徒の作品がいつも展示されているのですが、初めて来校された方が美術学校と誤認されるほどのハイレベルです。

IBプログラムでも、音楽・美術はとても重視されています。海外でセミプロのレベルに達して帰国した生徒にとっても、十分に期待に応えられる体制が整っていますので、ご安心ください。

● 一時帰国の際には、学校見学を

もし一時帰国される機会がありましたら、ぜひ広尾学園を訪ねてください。地下鉄「広尾」の3番出口を出ると、直ぐ目の前に校舎があります。

平日でしたら、いつでも来校くださっても校内をご案内します。しかし、学校行事や定期試験などと重なることもありますので、予めご確認いただけましたら幸いです。

学校説明会やオープンスクール、学園祭・体育祭などの日も歓迎ですが、広尾学園の魅力は、むしろ日頃の学校生活や学園の“空気”にあります。とりわけ帰国生の明るい笑顔や伸びやかな活動振りを肌で感じてくださったら、必ず入学したくなるでしょう。

小山 和智

おやま かずと

広尾学園中学校高等学校 国際担当

(現、順心女子学園中学・高校)

海外子女教育振興財団の外国語保持教室主任のほか、ジャカルタ日本人学校事務長、クアラランブル日本人学校国際交流ディレクター、啓明学園国際教育センター所長を歴任。

現在は「グローバル化社会の教育研究会」の事務局長としても活躍中。

<http://www.toshima.ne.jp/~kyoiku/>



英語補習校だより (7)

本当の学力を育てる

英語補習校の問い合わせで最も多いのが、「英語での帰国中学受験を考えているのですが、対応できますか？」というものです。

Pre-TOEFL(ITP)やSLEPなどを用いる学校、「ネイティブ教師の面接のみ」といった学校については、もちろん対応できます。帰国生受け入れ校の多くが、入試は「面接と作文(or小論文)」としていますが、たとえ、その面接や作文・小論文が英語で行なわれるとしても、大丈夫です。

しかし、問題は、「帰国生受け入れ校」の看板を掲げている学校でも、海外校の成績表が読みこなせない(あるいは、その時間がない)学校が結構多いことです。そういった学校ほど「英語の試験」を課すのですが、英語補習校で習った通りに答えたら、減点される場合もあるでしょう(笑)。また、「自己主張が強すぎる」と敬遠されるかもしれません。

この教室では、“日本の学校英語”には拘っていない点をご理解ください。「偏差値よりも個性値」を追求していく……つまり、その子なりのユニークさを評価し、本当の意味の「学習スキル」を伸ばしていきたいのです。これは広尾学園のモットーですし、当然ながら、受講生が広尾学園中学校に入学を希望されれば、特別な配慮の対象ともなります。

<http://www.toshima.ne.jp/~kyoiku/Eigo-Hoshuko-J.htm>

広尾学園中学校高等学校

(現、順心女子学園中学校高等学校)

〒106-0047 東京都港区南麻布5-1-14

TEL. 03(3444)7271 FAX. 03(3444)7192

www.junshin.ac.jp



4月開講のインターナショナル・コースでの、IB導入が決まった報告です。このコースは、外国人の子女を対象にしたものですが、帰国子女の子どもにも、機会が与えられています。

日本の普通の学校で、「英語での授業」を中心に教えても、日本の中学や高校の卒業資格が得られるコースが、東京の2校でスタートするので、大学でも見られるこの動きは、日本の教育の多様化の象徴です。

さらに、IBの導入は、カリキュラムや学力における教育のグローバル化の始まりです。IBの学力は、エッセイやレポート、論理的な思考など、アメリカの学校と極めて類似したものを求めています。

帰国後も現地校での学習を継続したい生徒や保護者にとっては、新しい進学のチョイスになります。しかし、新しい選択には、新しい教育情報が必要で、「目が離せない」広尾学園に、今後も注目しましょう。